



# 日中45周年プロジェクト 雲南省

広告

## 「秘境」も今や注目デステイネーションに 鉄道路線や道路網の整備によりアクセスも向上

雲のはるか南にある「理想の桃源郷」

昨年11月17日～19日の3日間にわたり、中国雲南省の省都昆明で中国国際旅游交易会(CITM)が開催され、日本からも20社以上の旅行会社が参加しました。

2013年に世界文化遺産に登録されたハニ族棚田群をはじめとする美しい自然や少数民族のユニークな文化が地域に根付いている雲南省は、中国国内でも急速にデステイ

ネーションとして注目が高まっています。

北に四川省、東に貴州省と広西チワン族自治区、西北にチベット自治区と隣り合い、ベトナム・ラオス・ミャンマーとの国境線が4000キロにも達する雲南省は、周辺地域も含めた人々による移動や交流の長い歴史を通じて、中国文化やチベット文化、東南アジア文化、インド文化が融合し、複数民族によって織り成される多元的的文化が育まれてきました。

北には雄大で壮麗な氷雪に覆われた山岳地帯、南には広大な熱帯雨林が広がり、その多様な自然の中で25を数える少数民族が暮らしています。険しい山々のかたに広がる雲南は、中国の人々にとっても長年にわたり「雲のはるか南」の秘境でしたが、19世紀後半に英国人作家のジェームズ・ヒルトンがこの地をモデルに理想の桃源郷・シャングリラを描き、中国の他の地域とは異なる独特の風土や文化を世界に知らしめました。

### 主要観光ルートで積極的な商品化を

1999年に開催された



菜の花畑にカルスト地形の小高い山々が点在するユニークな景観(雲南省・羅平)

「世界園芸博覧会」を通じて知名度が一気に高まった昆明では、同博覧会を契機に鉄道や道路の整備なども急速に進められました。1997年には麗江が世界文化遺産に登録されたことも追い風となり、同省を訪れる旅行者も飛躍的に増加して、現在では、6つの代表的な観光ルートが形成されるまでになっています。

同省中部のリゾート・レジャーを中心とするルート、西北部のシャングリラ生態文化ルート、西部における異国情緒ルート、南西部における熱帯雨林ルート、東南部のカルスト地形に代表される奇観ルート、東北部における歴史的な町並みを辿る文化ルートと、その魅力は極めて多様です。

雲南地域では、成都／昆明線、南寧／昆明線、貴陽／昆明線の3つの鉄道幹線を中心に鉄道路網が整備されており、四川・広西・貴州の3省を結ぶネットワークが広がっています。

また、主な観光拠点となる都市には高速バスの路線も張り巡らされ、昆明を中心とする道路網が雲南省の全域をカバーしていることから、日本の旅行会社各社による主要観光ルートを活用した積極的な商品開発が期待されるといえます。



世界文化遺産に登録されたハニ族棚田群の夕景



南詔国時代の9世紀中頃に建てられた大理三塔寺



戦乱と無縁だった麗江古城には城壁がなく、水路が縦横に巡る石畳の町並みが魅力です



玉龍雪山のふもとに広がる世界文化遺産・麗江の家並み

中国国家観光局 駐日本代表処